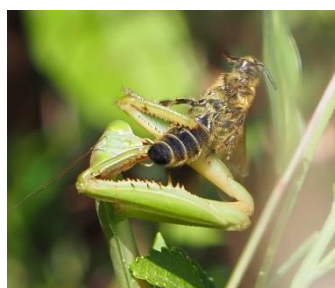




かまきり



ちょうのにな



11月の園の花
オーシャンブルー
(宿根朝顔)

草花遊びで作ったインスタ映えするパフェ



カブトムシの幼虫



忠在地公園の紅葉は、
イチョウの木が多くて
けっこうきれいです。



クロメンガタスズメ



ハッカハムシ

10月家のプランターで育てたオオケタデの花にカマキリを見つけました。2時間程動かずにえものの虫が来るのを待っていました。カマキリは草地のハンターです。野外で良く見られるのは秋です。屋根の梁に卵を産んでいました。一日中卵が乾くまでじっと卵を守っていました。おすすめの本は、「カマキリの生きかた 筒井学」です。写真がすばらしく、親子で読むとカマキリファンになるでしょう。この本は、岩倉図書館にあります。11月の園の花はオーシャンブルーです。琉球朝顔とも呼ばれています。秋に多くの花をつけ12月まで咲いています。オーシャンブルーやオシロイバナを使って園児たちがきれいな色のパフェを作っていました。園庭に多くの花が咲いているので利用できるのです。園児が家で見つけた虫の名前を調べてみると「クロメンガタスズメ」「ハッカハムシ」と分かりました。名前が分かるとその虫がどんな虫なのかが分かってきます。名前を調べることが、学びの第一歩になります。クロメンガタスズメは、蛾です。頭に人の顔のような模様があるので、このような名前がつけました。ハッカハムシは、ミントの葉っぱを食べます。小さくて、かっこいい甲虫です。11月に地域の方からカブトムシの幼虫を30匹もいただきました。園で育てます。大きくなるのが楽しみです。

明德幼稚園や公園で見つけた自然通信

2022年10・11月号 岩倉自然学習ボランティア 村上 幹夫

